

平成30年度司法書士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の司法書士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

【第36問】

問1について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、数次にわたり発生している相続について、第一の相続を登記原因とする所有権の移転の登記、第二の相続を登記原因とする被相続人の共有持分の全部移転の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問2について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、売買を登記原因とする共有者全員持分の全部移転の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序、登記原因について第三者の許可、同意又は承諾の要否及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

さらに、問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、上記の共有者全員持分の全部移転の登記の申請に提供する登記原因証明情報の作成について正確な理解を問うもの

問3について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、地上権の設定の登記及び2番地上権の根抵当権の設定の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序、登記原因について第三者の許可、同意又は承諾の要否及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

【第37問】

問1について

会社継続，取締役会設置会社の定め及び監査役会設置会社の定めの設定，取締役，代表取締役及び監査役の変更，支配人の選任等につき，提示された資料から読み取り，役員の任期，監査役の社外性の判断等に留意しながら，登記の申請書を正確に記載した上，当該申請書の添付書面を特定し，納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問2について

株式無償割当，取締役及び代表取締役の変更等について，提示された資料から読み取り，増加する発行済株式数，補欠として選任された取締役の就任，支配人が代表取締役に就任した時の効果等に留意しながら登記の申請書を正確に記載した上，当該申請書の添付書面を特定し，納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問3について

株式譲渡制限に関する規定を廃止する際の，発行可能株式数と発行済株式数の関係についての正確な理解を問うもの

問4について

有効に株式譲渡制限に関する規定を廃止し，直ちにその効力を生じさせようとするときに株主総会で決議すべき事項について，司法書士としてどのような提案を行うべきか正確な理解を問うもの